

MARABANA2017

大会注意事項

1. 競技時間には制限時間がある。ハーフマラソンは午前 10 時まで(3 時間)、フルマラソンは午後 12 時まで (5 時間) とする。
2. 摘要記録についてはプログラムに記載された個別スケジュールを確認する。
3. マラソンコースは歩道を利用し、それ以外のルートの使用はしない。
4. マラソンコースは栈橋、歩道、道路や 23 番および 26 番通りを使用するので、できる限り右側を利用する。
5. 5 キロランナーとファンウォーキングについては、レースはマラソンコースの手前 5 キロ地点から始まる。
6. 大会参加者がレースの継続を不可と決めたとき、ハーフマラソンの方はその時点で棄権と見なされ、フルマラソンの方はそれまでのタイムが記録計測係りにより認定される場合もある。
7. ハーフマラソン参加者がマラソンを続けると決定をした場合でも、そのレース結果は考慮されない。
8. 5 キロおよび 10 キロマラソンのルートは決められているため、参加者はそれ以外のルートを行ってはならない。記録は最初に登録した距離にのみ認定される。
9. もしランナーが大会に登録されていないと判定された時、マラソンコースから出て頂き、レースを終えることはできない。
10. 背中と胸の番号は胸の覆うようにつけ、大会ロゴが前にくるようにする。いかなる場合も与えられた番号に手を加えたり、折ったりまた消したりしてはいけない。1 回目の注意で改めない場合は大会を棄権したものとみなされる。
11. 大会参加者は適切な服装が求められ、大会実行委員が許可しないショーツや T シャツ、セーターおよびスポーツウェアと認められた場合、注意または参加資格取り消しとなる。
12. スタートとゴール地点は参加距離別と身障者用カテゴリ-毎に分けられている。
13. マラソンコース沿いにはコントロールポイントがあり、そこで参加距離ごとにすべての参加者はチェックされる。
14. 苦情についてはその要望と AIMS および IAAD による規制に照らし合わせ、個別に処理される。
15. 身障者ランナーはイベントに参加できるが、マラソン実行委員会に対し事前に書面で確認をとり、許可されたカテゴリ-にのみエントリーできる。

16. 身障者ランナーには特別ルール及び賞が用意され、最終的な参加人数によるが障害者枠からは8名以上とする。
17. キューバ人ランナーは登録と大会記録、両方に参加できる。またチームによる参加の場合は居住地域、大学または配属先の軍隊で編成可能である。
18. 身障者ランナーは他から見てすぐに特別枠だとわかるようなしるしをつけて参加する。
19. 参加者は適切な服装を着用し、攻撃的で不適切なフレーズやデザインのもの認められない。
20. 大会を終えた参加者はその記録が記載された認定書が授与される。
21. 全大会記録は大会終了後にこのページ上に掲載される。
22. 不可抗力により大会が延期となった場合、大会に登録した方々は次の年の大会へ参加可能とする。